

世界資源株ファンド

追加型投信／海外／株式 特化型

2025年10月17日に満期償還となる予定です。

作成対象期間：2024年10月22日～2025年4月21日
第 39 期 決算日：2025年4月21日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界資源株マザーファンド受益証券を通じ、世界各国（除く日本）の資源関連の株式を高位に組み入れる運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第39期末（2025年4月21日）	
基準価額	9,556円
純資産総額	2,540百万円
騰落率	－ 12.9%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法

<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

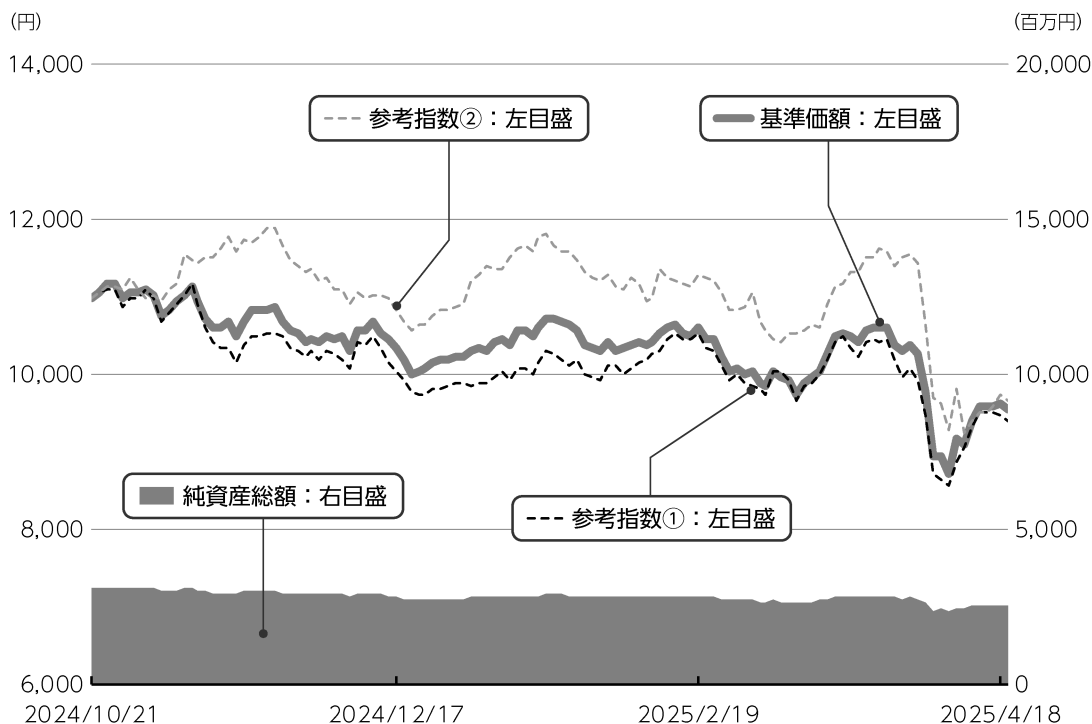
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第39期：2024年10月22日～2025年4月21日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第39期首 10,974円

第39期末 9,556円

既払分配金 0円

騰落率 -12.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ12.9%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

保有する資源関連株式が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

組入銘柄では、ニッケルや銅などの非鉄金属の下落を背景に、「VALE INDONESIA TBK」（インドネシア）や「TECK RESOURCES LTD-CLS B」（カナダ）などが下落し、基準価額の下落要因となりました。

※参考指数①は、MSCIワールドメタルズ&マイニングインデックス（配当込み、円換算ベース）、参考指数②は、MSCIワールドエナジーインデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2024年10月22日～2025年4月21日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	87	0.840	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(43)	(0.412)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.016	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	89	0.859	

期中の平均基準価額は、10,354円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

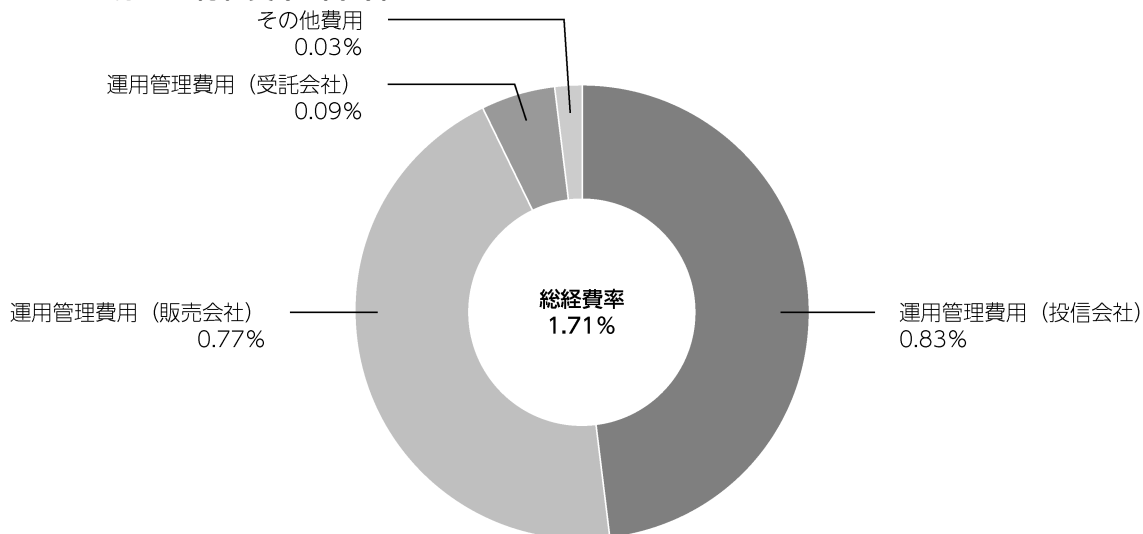
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.71%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

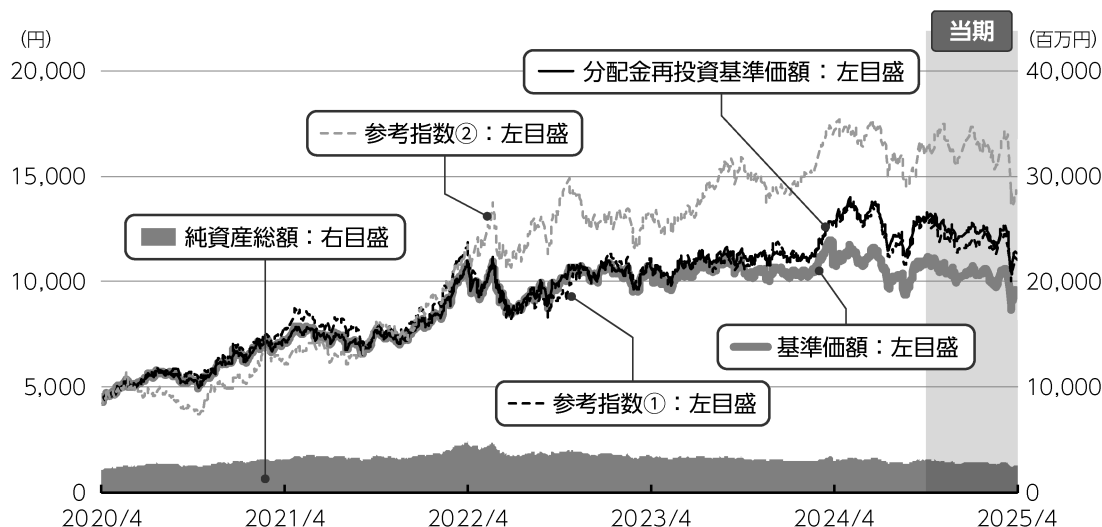
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2020年4月20日～2025年4月21日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2020年4月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2020/4/20 期初	2021/4/19 決算日	2022/4/19 決算日	2023/4/19 決算日	2024/4/19 決算日	2025/4/21 決算日
基準価額 (円)	4,424	7,244	10,749	10,514	10,787	9,556
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	100	300	1,550	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	63.7	49.8	0.6	17.7	-11.4
参考指数①騰落率 (%)	—	78.0	48.4	-5.2	16.1	-14.3
参考指数②騰落率 (%)	—	42.3	84.9	14.0	28.3	-16.4
純資産総額 (百万円)	2,182	3,138	4,659	3,425	3,017	2,540

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数①は、MSCIワールドメタルズ＆マイニングインデックス（配当込み、円換算ベース）、参考指数②は、MSCIワールドエナジーインデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第39期：2024年10月22日～2025年4月21日

▶ 投資環境について

▶ 株式市況

株式市況は下落、商品市況は原油が下落した一方、金は上昇しました。

期間の初めから2025年1月にかけては、2024年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）においてタカ派的な政策金利見通しが示され、米長期金利が上昇したことなどを受けて、株価が下落した場面もありましたが、米大統領選でレッドスウィープ（共和党が大統領・上下院で勝利）となり、減税や規制緩和が企業業績の拡大につながるとの期待や、底堅い経済指標や堅調な企業業績を背景に株価は上昇しました。1月以降はトランプ米政権の相互関税をはじめとする政策による不透明感や、スタグフレーション（物価上昇と景気停滞）への懸念が高まったことなどを受け、株価は下落しました。4月2日に関税の詳細が明らかになって以降は、トランプ氏の発言や米国と各国の関税交渉などのニュースに反応し、変動の激しい展開となりました。結果として、期間の初めに比べ下落して期間を終えました。

商品市況についてみると、期間の初めから2025年2月にかけては、中国の金融緩和期待から需要が増加すると考えられたことや、米国が行うロシアへの石油生産を対象にした制裁が供給に影響すると考えられたこと等から原油価格は上昇しました。2月以降は、トランプ米政権の関税政策による世界景気の減速懸念が高まったこと等から下落し、期間の初めから期間末にかけて原油価格は下落しました。一方、期間の初めから2024年末にかけては、米長期金利が上昇したことを受けて、金利が付かず相対的に投資妙味が劣ると考えられた金の価格は下落しました。2025年初以降は、トランプ米政権の関税政策による経済の不透明感から、安全資産とされる金の価格は上昇し、期間の初めから期間末にかけての金価格は上昇しました。

▶ 為替市況

主要通貨は円に対して下落となりました。
米ドルやカナダドルなどは円に対して下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 世界資源株ファンド

マザーファンドを通じ、世界各国（除く日本）の資源関連の株式を高位に組み入れる運用を行いました。

▶ 世界資源株マザーファンド

各種金属・鉱業関連銘柄や金関連銘柄な

どへの幅広い投資を継続しました。組入比率は高位を維持しました。

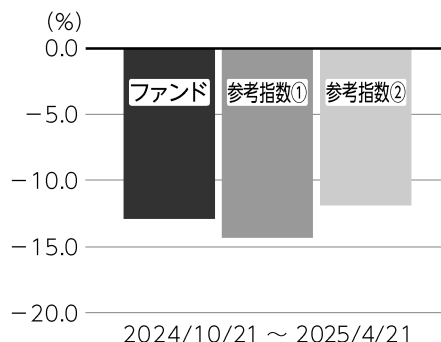
当期間のパフォーマンスについては、各種金属・鉱業関連銘柄などが下落したことや、米ドル、カナダドルといった投資先通貨が円に対して下落しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数①は、MSCIワールドメタルズ&マイニングインデックス（配当込み、円換算ベース）、参考指数②は、MSCIワールドエナジーインデックス（配当込み、円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第39期 2024年10月22日～2025年4月21日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,958

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 世界資源株ファンド

マザーファンドへの投資を通じて、世界各国（除く日本）の資源関連の株式を高位に組み入れ、信託財産の中長期的な成長をめざす運用を行います。

▶ 世界資源株マザーファンド

米国の景気動向など不透明感はあるものの、資源関連株式の銘柄選定においては、埋蔵資源量、生産コスト、財務内容、マネジメント、成長性といった企業のクオリティや、コモディティごとの需給環境に注目し、有望な銘柄を発掘することで、投資リターンの獲得をめざします。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。（2025年4月1日）

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

▶ その他

- ・東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。（2024年11月5日）
- ・当ファンドは信託約款に基づき、2025年10月17日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

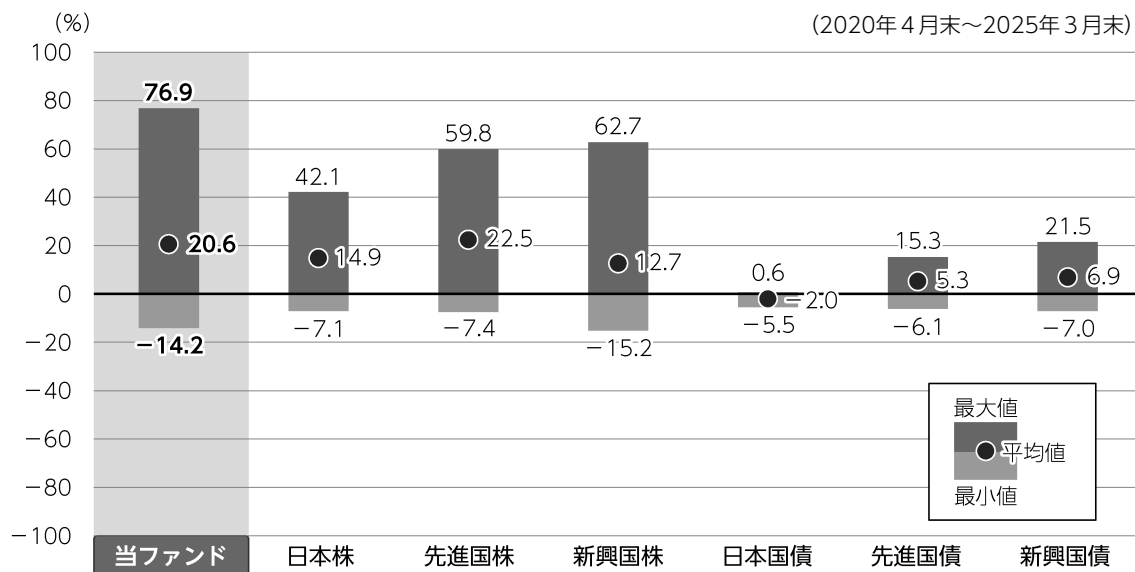
商 品 分 類	追加型投信／海外／株式 特化型
信 託 期 間	2025年10月17日まで（2006年1月20日設定）
運 用 方 針	マザーファンドを通じて主として、世界各国（除く日本）の資源関連の株式等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	■当ファンド 世界資源株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。 ■世界資源株マザーファンド 世界各国（除く日本）の資源関連の株式等を主要投資対象とします。
運 用 方 法	世界各国（除く日本）の資源関連の株式等を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分 配 方 針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合に、当期の基準価額上昇分の範囲内で分配します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

◆ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。

◆ファンドは、世界各国（除く日本）の資源関連の株式等に投資します。世界各国（除く日本）の資源関連の株式等には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

* 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



● 上記は、2020年4月から2025年3月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

● 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

● ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

● 騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2025年4月21日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第39期末 2025年4月21日
世界資源株マザーファンド	99.8%

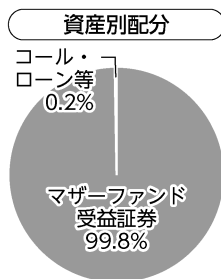
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

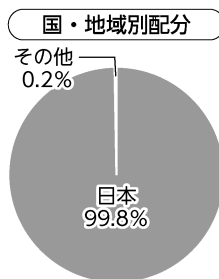
項 目	第39期末 2025年4月21日
純資産総額 (円)	2,540,462,072
受益権口数 (口)	2,658,372,604
1 万口当たり基準価額 (円)	9,556

※当期中において追加設定元本は 9,251,620円
同解約元本は146,117,016円です。

種別構成等

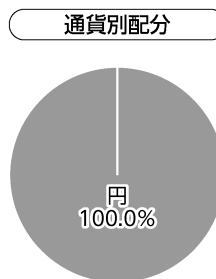


※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。



290207

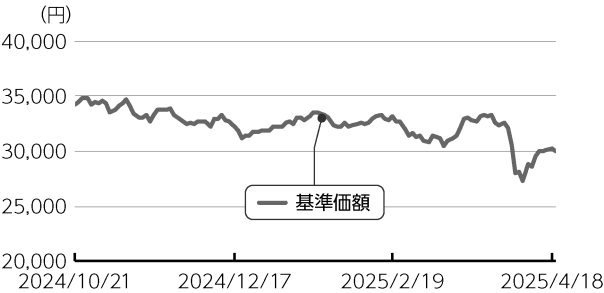
2025年4月21日現在

組入上位ファンドの概要

世界資源株マザーファンド

基準価額の推移

2024年10月21日～2025年4月21日



1万口当たりの費用明細

2024年10月22日～2025年4月21日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	1	0.003
(株 式)	(1)	(0.003)
(b)有価証券取引税	0	0.000
(株 式)	(0)	(0.000)
(c)その他費用	5	0.014
(保管費用)	(4)	(0.011)
(その他)	(1)	(0.003)
合計	6	0.017

期中の平均基準価額は、32,386円です。

※項目の概要については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：42銘柄)

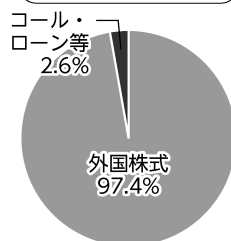
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	AGNICO EAGLE MINES LTD	株式	カナダ	金	7.5
2	WHEATON PRECIOUS METALS CORP	株式	カナダ	貴金属	6.0
3	BHP GROUP LTD	株式	オーストラリア	天然資源 多角経営	4.6
4	FRANCO-NEVADA CORP	株式	カナダ	金	4.1
5	NEWMONT CORP	株式	アメリカ	金	4.1
6	RIO TINTO LTD	株式	オーストラリア	金属 - 多角経営	3.9
7	ANGLO AMERICAN PLC	株式	イギリス	プラチナ	3.2
8	SUNCOR ENERGY INC	株式	カナダ	石油 - 総合	3.2
9	ALAMOS GOLD INC-CLASS A	株式	カナダ	金	3.1
10	VALE SA-SP ADR	株式	ブラジル	金属 - 鉄鉱石等	3.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※業種名はBloomberg業種分類を採用しています。
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

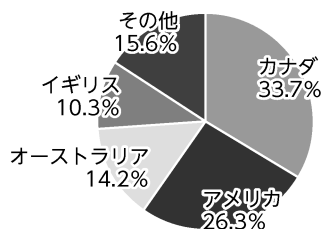
資産別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

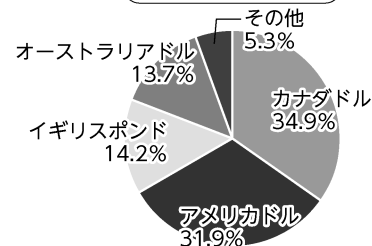
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

国・地域別配分



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

通貨別配分



指数に関して

▶ ファンドの参考指数①である『MSCIワールドメタルズ&マイニングインデックス（配当込み、円換算ベース）』について

MSCIワールドメタルズ&マイニングインデックス（配当込み）は、MSCI Inc.が開発した先進国市場の大型株と中型株の内、世界産業分類基準（GICS）に基づいて金属および鉱業関連株式で構成される株価指数です。MSCIワールドメタルズ&マイニングインデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIワールドメタルズ&マイニングインデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が計算したものです。MSCIワールドメタルズ&マイニングインデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

▶ ファンドの参考指数②である『MSCIワールドエナジーインデックス（配当込み、円換算ベース）』について

MSCIワールドエナジーインデックス（配当込み）は、MSCI Inc.が開発した石油・天然ガス等エネルギー関連株式で構成される株価指数です。MSCIワールドエナジーインデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIワールドエナジーインデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が計算したものです。MSCIワールドエナジーインデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドの

スポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● **J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド**

J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント